

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年10月30日

上場会社名 株式会社 きもと (略称 KIMOTO)
 コード番号 7908 URL <http://www.kimoto.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成21年11月11日

上場取引所 東

(氏名) 木本 和伸
 (氏名) 松原 長一
 配当支払開始予定日

TEL 03-3354-0321
 平成21年12月11日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	10,867	△20.9	89	△87.4	102	△87.7	△8	—
21年3月期第2四半期	13,735	—	713	—	837	—	416	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	△0.33	—
21年3月期第2四半期	15.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	27,310	17,626	64.5	660.79
21年3月期	25,551	17,691	69.2	663.20

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 17,626百万円 21年3月期 17,691百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	6.00	—	4.00	10.00
22年3月期	—	3.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,000	△2.0	500	—	520	—	340	—	12.75

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4.その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 有

詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4.その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 27,386,282株 21年3月期 27,386,282株

② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 710,828株 21年3月期 710,828株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第2四半期 26,675,454株 21年3月期第2四半期 26,975,480株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想の背景等につきましては、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 3.連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループにおきましては、三重第四工場（呼称：丸山工場）の増設工事が7月に完成し、9月から新規設備が本格稼働いたしました。第2四半期に入りハードコートフィルムの需要が旺盛になり、新規設備の順調な稼働は、これらの需要増に対応するため時宜を得たものとなりました。

しかしながら、当社グループの出荷量は第1四半期の落込みが大きく、当第2四半期連結累計期間の売上は前年同期の水準まで回復するには至りませんでした。また、当社グループを挙げての経費削減努力の効果はあったものの、前年同期と比較すると利益は大幅に減少いたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は10,867百万円（前年同期比20.9%減）、営業利益は89百万円（前年同期比87.4%減）、四半期純損失は8百万円（前年同期の四半期純利益は416百万円）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりであります。

a. 機能性フィルム事業部門

（電子・工業材料事業）

国内及び東アジアにおいて総じて出荷量の減少はあるものの、モバイル向けアプリケーションの拡大を受け、ハードコートフィルムの売上が増加いたしました。しかしながら、デジタル家電向け光学フィルムの出荷量が著しく減少したことにより、電子・工業材料事業の売上高は7,260百万円（前年同期比23.8%減）となりました。

（グラフィックス事業）

国内向けの大型インクジェットプリンターの売上は堅調に推移しましたが、欧州市場における売上の減少により、グラフィックス事業の売上高は2,141百万円（前年同期比13.3%減）となりました。

（産業メディア事業）

環境製品のセルフクリーニングフィルムは、大型物件の受注により売上を伸ばすことができましたが、従来製品でありますCAD用出力フィルムの売上が減少したことにより、産業メディア事業の売上高は1,144百万円（前年同期比19.7%減）となりました。

以上の結果、機能性フィルム事業部門の売上高は10,546百万円（前年同期比21.4%減）、営業利益は122百万円（前年同期比84.2%減）となりました。

b. 情報システム事業部門

中央省庁向け受託作業の売上が増加し、情報システム事業部門の売上高は320百万円（前年同期比2.0%増）、営業損失は33百万円（前年同期の営業損失は65百万円）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における資産、負債、純資産の状況は以下のとおりであります。なお、比較増減額はすべて前連結会計年度末を基準としております。

(1) 資産

総資産は前連結会計年度末に比べ1,759百万円増加し、27,310百万円となりました。主な変動要因は、現金及び預金の増加514百万円、受取手形及び売掛金の増加680百万円、有価証券の増加199百万円、仕掛品の増加269百万円、有形固定資産の増加698百万円であります。

(2) 負債

負債は前連結会計年度末に比べ1,824百万円増加し、9,684百万円となりました。主な変動要因は、支払手形及び買掛金の増加1,091百万円、長期借入金の増加194百万円であります。

(3) 純資産

純資産は前連結会計年度末に比べ64百万円減少し、17,626百万円となりました。主な変動要因は、その他有価証券評価差額金の増加92百万円、利益剰余金の減少115百万円、為替換算調整勘定の減少41百万円であります。これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ4.7ポイント下落し、64.5%となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績見通しにつきましては、電子・工業材料事業に持ち直しの動きも出ているものの、第4四半期以降の市場環境は不透明感を拭いきれない状況であります。

これらの状況を踏まえ、通期の連結業績予想は、売上高23,000百万円(前連結会計年度比2.0%減)、営業利益500百万円(前連結会計年度の営業損失は162百万円)、経常利益520百万円(前連結会計年度の経常損失は310百万円)、当期純利益340百万円(前連結会計年度の当期純損失は896百万円)を見込んでおります。

なお、平成21年10月26日発表の通期の業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
該当事項なし

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

【簡便な会計処理】

記載すべき重要な事項はありません。

【四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理】

税金費用の計算は、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

従来、決算日が連結決算日と異なる連結子会社木本新技術(上海)有限公司は、連結決算日との差異が3か月以内であるため、当該連結子会社の事業年度の財務諸表に基づき連結決算を行ってまいりましたが、連結業績をより適切に開示するため、当四半期連結会計期間に木本新技術(上海)有限公司の決算日を12月31日から3月31日に変更いたしました。そのため、当四半期連結累計期間は平成21年1月から9月までの9か月間を連結しております。

なお、これによる連結業績への影響は軽微であります。

また、木本新技術(上海)有限公司は、平成21年9月に社名変更した旧稀本商貿(上海)有限公司であります。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,885	4,370
受取手形及び売掛金	6,092	5,412
有価証券	499	299
商品及び製品	867	836
仕掛品	1,089	820
原材料及び貯蔵品	492	459
繰延税金資産	327	348
その他	267	894
貸倒引当金	△81	△75
流動資産合計	14,441	13,366
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,706	3,505
機械装置及び運搬具（純額）	2,872	1,812
その他（純額）	1,863	3,426
有形固定資産合計	9,442	8,743
無形固定資産		
その他	414	473
無形固定資産合計	414	473
投資その他の資産		
投資有価証券	1,787	1,631
その他	1,298	1,379
貸倒引当金	△73	△44
投資その他の資産合計	3,011	2,966
固定資産合計	12,869	12,184
資産合計	27,310	25,551

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,896	2,804
短期借入金	352	360
未払法人税等	96	34
賞与引当金	301	302
その他	2,029	1,565
流動負債合計	6,677	5,068
固定負債		
社債	265	332
長期借入金	1,393	1,199
退職給付引当金	1,257	1,148
役員退職慰労引当金	—	62
その他	89	48
固定負債合計	3,006	2,791
負債合計	9,684	7,859
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,274	3,274
資本剰余金	3,427	3,427
利益剰余金	11,576	11,692
自己株式	△313	△313
株主資本合計	17,965	18,080
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	134	42
為替換算調整勘定	△473	△431
評価・換算差額等合計	△338	△389
純資産合計	17,626	17,691
負債純資産合計	27,310	25,551

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	13,735	10,867
売上原価	9,827	7,944
売上総利益	3,907	2,922
販売費及び一般管理費	3,193	2,832
営業利益	713	89
営業外収益		
受取利息	28	10
為替差益	41	—
法人税等還付加算金	—	24
その他	74	32
営業外収益合計	144	68
営業外費用		
支払利息	11	17
為替差損	—	24
その他	9	13
営業外費用合計	20	55
経常利益	837	102
特別利益		
固定資産売却益	0	—
貸倒引当金戻入額	12	—
特別利益合計	12	—
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産廃棄損	7	7
たな卸資産評価損	25	—
退職特別加算金	35	—
特別損失合計	69	8
税金等調整前四半期純利益	780	94
法人税等	364	103
四半期純利益又は四半期純損失(△)	416	△8

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項なし

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項なし

6. その他の情報

販売の状況

事業区分	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	
	売上高 (百万円)	前年同四半期比 (%)	売上高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
機能性フィルム事業部門	13,421	△5.2	10,546	△21.4
電子・工業材料事業	9,524	△4.6	7,260	△23.8
グラフィックス事業	2,471	△4.4	2,141	△13.3
産業メディア事業	1,425	△10.2	1,144	△19.7
情報システム事業部門	314	7.1	320	2.0
合 計	13,735	△5.0	10,867	△20.9

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 前第2四半期連結累計期間における前年同四半期比は、参考値として記載しております。